

2 目標達成計画

作成日：平成21年12月4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	現状で災害対策に問題があるわけではないが、期待したい内容にあるように、防災対策は”これ以上”と言うものがなく永遠の課題と共感できる。実施可能な地域との連携、関わり、訓練なら徐々にでもその体制を広げていきたい。	地域消防団、近隣の住人にもグループホームでの訓練を周知していただき、出来るものなら訓練にも参加していただき、体制をより強力なものにする。	新年度4月の運営会議に消防署職員ならび地域の消防団員にも参加してもらう。また地域住民に訓練の実施をお知らせすることで興味を高め、実際に訓練参加を推奨する。	6ヶ月から10ヶ月
2	6	入居者の生活上、危険性が高いときに過剰なスピーチロックがある・・と職員間で聞かれる。必要なスピーチロックでも、もう少し精査する必要性を職員全員が認識している。	先を予測し確実に入居者を危険にあらしめるものにだけスピーチロックを使えるように個々の職員がなる。	確実な転倒や、他者への迷惑、生命に係わる等、大きな影響を及ぼすような行動等を入居者が行おうとした場合に限り使用する。	半年から1年
3	44	水分量の確保や排便を促すような食物を多用しているが効果があったり、なかったり・・・。効果がより期待できる方法に変更する必要がある。	薬剤に頼らず長くても3日程度で排便が確認できるようになる。	排便を促す食物(人参ゼリー)に手を加え、朝昼晩のどの時間で摂取すると排便が、より促されるか・・・?など試しながら実施する。	3ヶ月
4	25	なんであれ”押しつけ”にならないよう留意しながら援助しているつもりだが、この”押しつけにならない”は、まぶるの永遠の課題と考えているため、力をいれたい。	日々、入居者が笑って過ごせるように・・・。何でも嫌々行わないようになる。	行事・活動等が、個々の性格や身体状況に合っているか精査しながら本人が希望するものをより多く援助する。	1年
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。